ほくりく経済

愛犬家のための住宅提案

しつけや建材学ぶ

コーディネーター資格注目

コーディネーターの資格を取った黒田さん

ペットのけがや部屋の汚れ、においなどを防ぐ工法や建材を採り入れた「愛犬家住宅」の考え方が広まりつつある中、県内でもコーディネーター資格を取る人が出始めた。

愛犬家住宅コーディネーターの資格は、犬に関する市場調査などを行うコンサルティング会社「ワンオンワン」（東京都）の設立したNPO法人が認定。2か月前後の通信教育で、犬種ごとのしつけ方や性格、犬が暮らしやすい住宅構造や建材などの知識を学ぶ。国内の犬の飼育数が1000万頭以上とされる中、新たな専門分野として注目されている。

同社によると、2008年から認定を始め、現在のコーディネーターは受講中を含め全国約1700人。住宅建築やペット関係の業者のほか、将来の事業展開を考える主婦なども取得しているという。

県内では2人が取得している。金沢市の建築会社員黒田美弥子さん(36)は、昨年8月に取得した。10年以上前に飼い犬がフローリングの床で滑って骨折し、左前脚が動かなくなった時は、「仕方ない」と諦めていたが、滑りにくい床にするコーティング法があることを学んだ。

犬の性質を利用し、台所に入らないようにしたり、片付けたエサをあさりにくくしたり、いろんな工夫が可能という。まだ「愛犬家住宅」の注文はないが、顧客へのアドバイスは行っており、「人も犬も快適な環境がつくれることを知ってほしい」と語った。

資格の問い合わせは、ワンオンワン（03・6268・8655）。

2012年(平成24年)7月13日（金曜日）　読売新聞